



I
都市計画マスタープラン
の策定に当たって

II
相模原市の概況

III
都市づくりの課題

IV
全体構想

V
区別構想

VI
実現化方策

VI 実現化方策



(1) 実現に向けたプロセス

本計画を推進するためには、市民、企業、関係団体などの地域と行政の協働による都市づくりの推進、都市計画制度の活用や実現に向けた仕組みづくりなど、社会情勢等の変化に柔軟に対応した進行管理と計画の見直しが必要になります。

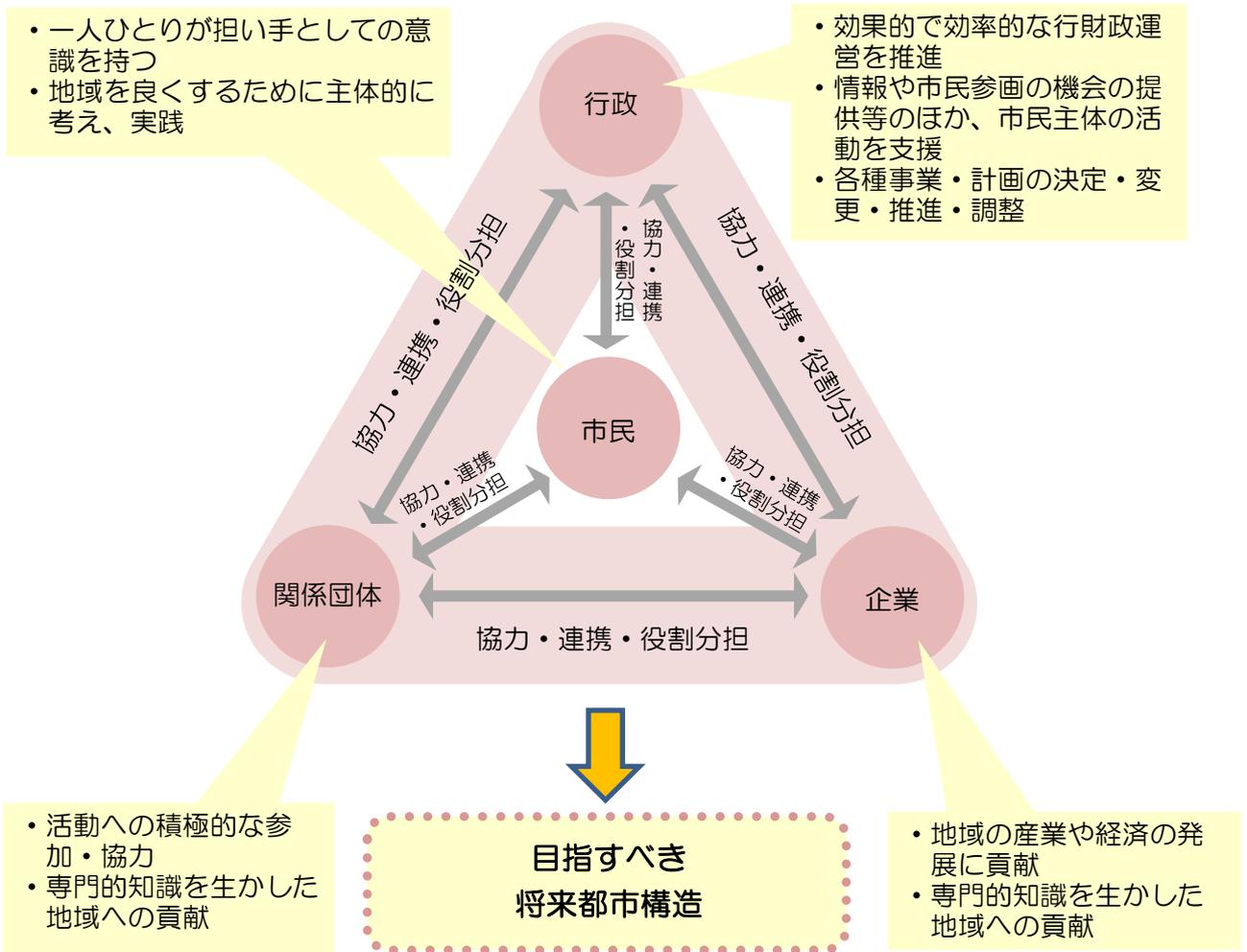
また、個別計画に基づくハード施策、ソフト施策等により将来都市構造の実現を目指し、効率的で実効性のある施策の推進を図ります。

① 協働による都市づくりの推進体制

人口減少や少子高齢化、価値観の多様化などの社会的な背景から、地域の特性を生かした都市づくりを推進していくためには、地域を良く知る市民、専門的知識を有する企業、関係団体などの参加が不可欠となります。

そのため、計画段階から、異なる立場や意見の中から共通項を見出しつつ、役割分担をしながら共に地域を創りあげていく協働の都市づくりを進めます。

<協働の都市づくりの推進体制>





② 地域（市民、企業、関係団体など）と行政の役割

具体的な都市づくりには、構想、計画、事業実施、管理など、様々な段階があるため、地域（市民、企業、関係団体など）と行政による役割に応じた協働の取組が重要となります。

また、地域の魅力や価値を一層高めていくため、様々な主体による都市施設*や都市空間の効率的な利活用も重要であり、相模原市街づくり活動推進条例（平成17年条例第58号）による取組の推進のほか、企業が主体となったエリアマネジメント*などの新たな手法の活用も検討します。

＜協働の都市づくりの参加方法イメージ＞

<p>都市・地域に興味を持つ</p> <p>【地域（市民・企業・関係団体 等）】 都市・地域を知る</p> <p>例えは</p> <ul style="list-style-type: none"> 市広報紙やホームページなどの閲覧 都市づくりについての学習 地域への愛着の醸成 <p>【行政（相模原市）】 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市づくり活動の情報発信 人材・組織の育成 	<p>ルールをつくる</p> <p>【地域（市民・企業・関係団体 等）】 ルールや具体策を検討し、地域で共有する</p> <p>例えは</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観やまちなみなどのルールづくり 地区計画*や建築協定*の検討と合意形成 <p>【行政（相模原市）】 検討の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 街づくり団体の運営支援 地域の意向に沿った支援 街づくりの内容の評価・審査、各種計画との調整 都市計画法など法令に基づく手続
<p>都市づくりに参加する</p> <p>【地域（市民・企業・関係団体 等）】 街づくりに参加する</p> <p>例えは</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートへの協力 自治会などの活動に参加 地域のボランティアに参加 <p>【行政（相模原市）】 参加の場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施 会議・討議の場の設置 イベントの実施 	<p>実践する</p> <p>【地域（市民・企業・関係団体 等）】 都市や地域を守り・育てる</p> <p>例えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールの遵守 施設の管理・運営 地域資源の活用・イベントの実施 担い手の育成 <p>【行政（相模原市）】 活動、運営・管理の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画制度などによる規制や誘導 市街地整備や公共施設整備等の実施 運営への支援・助成
<p>地域のことを考える</p> <p>【地域（市民・企業・関係団体 等）】 街の将来像を考える</p> <p>例えは</p> <ul style="list-style-type: none"> まちの課題や魅力の調査・確認 「目指す姿」の共有 街づくり団体の立ち上げ <p>【行政（相模原市）】 検討の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 街づくり団体の立ち上げ支援 街づくりの検討への助言 街づくりアドバイザーの派遣 	<p>計画・ルール、運営体制を見直す</p> <p>【地域（市民・企業・関係団体 等）】 都市や街をよりよくするために見直す</p> <p>例えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ルールの検証と必要に応じた変更 <p>【行政（相模原市）】 運営・管理の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 特色ある活動事例の情報収集と発信 その他の各種支援

I 都市計画マスタープランの策定に当たって

II 相模原市の概況

III 都市づくりの課題

IV 全体構想

V 区別構想

VI 実現化方針



③ 協働・連携のための環境づくり

市民主体の都市づくりには、行政による十分な情報提供が必要であることから、広報紙をはじめ、ホームページ、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などの多様な媒体を活用し、市民が必要とする情報を迅速かつ効果的に発信するとともに、行政情報のオープンデータ*化を推進します。

また、様々な手段や機会を通じて、ニーズや地域の課題など市民の意見を幅広く把握し、計画や取組内容に反映します。

都市計画決定・変更に当たっては、内容やスケジュールなどについて、わかりやすさ、透明性に配慮し、広く周知するとともに、市民意向の反映に努めます。

④ 様々な分野の横断的連携

本計画に掲げた都市づくりの実現に当たっては、都市計画や都市整備だけではなく、産業、観光、文化、福祉、環境等の様々な分野との連携が必要です。

そのため、庁内の関係する部局と本計画を共有し、相模原市総合計画の各部門別計画との調整を行うとともに、横断的な連携が可能となる庁内連絡体制の充実などを図ります。

＜総合的・横断的な都市づくりの体系イメージ＞



⑤ 周辺自治体や関係機関との連携

広域的な視点から検討する事業や、さまざまな機関との連携が必要な事業については、周辺市町村や国、県、都、関係機関と協議・連携を図ります。

より専門的な事業を計画的に推進するため、大学や企業などの研究機関と連携を図ります。

⑥ 適切な都市計画の見直し

社会情勢等の変化や将来都市構造を踏まえ、地域の特性や実情に応じた持続可能な都市づくりの実現のため、用途地域*、道路、公園、緑地、市街地開発事業*などの都市計画について、必要性や配置の検証を実施し、適宜見直しを図ります。



⑦ 社会情勢の変化・技術革新への対応

本計画は20年後の将来像を展望するものですが、今後は自動運転、IoT*、ロボット、人工知能(AI*)、ビッグデータ*、5G*などといった社会のあり方に影響を及ぼす新たな技術の進展が予想されており、こうした社会の変化や技術革新に柔軟に対応する都市づくりを目指します。

(2) 進行管理と見直し

① 計画の進行管理

本計画に基づく都市づくりが適正かつ計画的に行われるよう、計画の継続的な進行管理が必要です。また、進行管理の結果、事業の見直しが必要な場合、社会状況等、その事業が置かれている状況を踏まえ、必要性や効率性を検討して判断することが重要です。

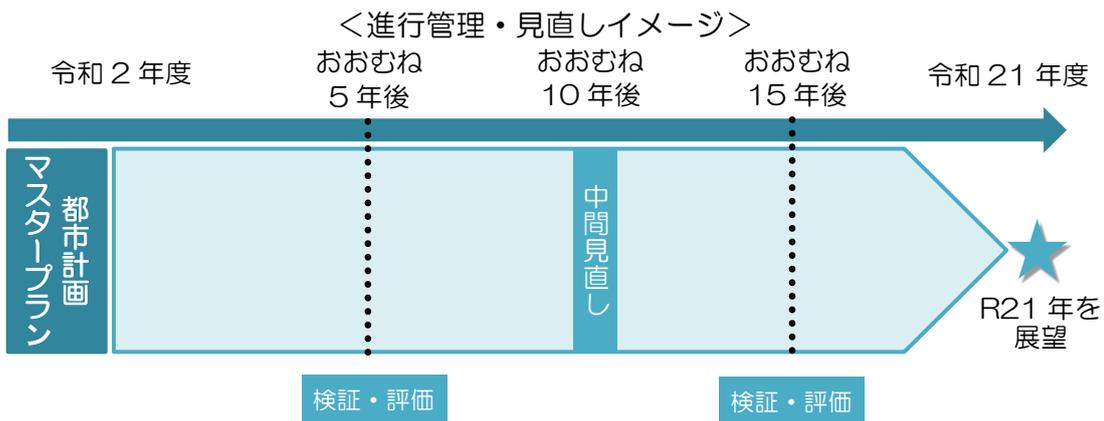
そのため、関連計画・事業との連携を図りながら、相模原市総合計画をはじめとした各種指標等を活用しながら、5～10年程度の定期、又は各種情勢の変化に伴い必要な時期に検証・評価を行います。その結果を踏まえ、必要に応じて事業の見直しや新たな事業の立案等を行います。

進行管理に当たっては、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)といった「PDCAサイクル」の仕組みを活用します。

② 計画の見直し

本計画は、長期的な視点に立った計画であり、おおむね20年後の将来像の実現を目指しますが、本市を取り巻く社会情勢等の変化や法改正、相模原市総合計画*などの上位計画の見直しがあった場合には、変化に迅速・的確に対処する観点から、計画の一部または全てを改訂することを検討するものとし、おおむね10年後に中間見直しを行うことを予定します。

また、関連計画のうち「相模原市立地適正化計画」については、おおむね5年ごとに評価を行い、必要に応じて関連する都市計画などの見直しを行うことが望ましいとされていることから、立地適正化計画の施策や目標の見直しを行う場合には、本計画との整合に十分留意するものとしします。





(3) 持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献

平成27年に国連サミットにて、持続可能な開発目標 (SDGs) *が採択されるなど、経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの核となる要素の調和の下で持続可能な開発を達成する社会を構築する必要性が高まっています。

そのため、将来都市構造の実現により、人口減少、超高齢化が進行する中においても快適に暮らせる持続可能なまちを目指し、持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献を図ります。

<本計画との関連性が強いSDGs>

土地利用	6 安全な水とトイレを世界中に	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナースhipで目標を達成しよう		
都市力を高める都市づくり	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナースhipで目標を達成しよう			
交通体系	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナースhipで目標を達成しよう		
環境と共生する都市づくり	2 飢餓をゼロに	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
都市づくり 関連施設	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナースhipで目標を達成しよう
魅力的な景観づくり			11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナースhipで目標を達成しよう			
快適な住環境づくり	1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	5 ジェンダー平等を実現しよう	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナースhipで目標を達成しよう	
災害に強い都市づくり		9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を	17 パートナースhipで目標を達成しよう		

I 都市計画マスタープランの策定に当たって

II 相模原市の概況

III 都市づくりの課題

IV 全体構想

V 区別構想

VI 実現化方策